

オンラインで学ぶ平和講座「広島から平和を考える」

成績優秀者を特典ツアーに招待

藤原教授と行く～「アニメ・ドラマ この世界の片隅に」 広島・呉ゆかりの場所巡りバスツアー～

【趣旨】

オンライン学習講座「広島から平和を考える」受講者のうち、理解度確認クイズにおいて、優秀な成績を修めた方から抽選で20名（予定）を、特典ツアーにご招待します。



【内容】

アニメ・ドラマ「この世界の片隅に」の舞台となっている広島・呉のゆかりの場所を講師の東京大学大学院藤原帰一教授と一緒にバスツアーで巡ります。また、藤原教授との昼食会を実施します。

【対象者】

理解度確認クイズ成績上位者の中から抽選で選ばれた方のうち、参加条件に同意いただける方20名（予定）。

【実施日（予定）】2019年6月15日（土）

©この史代・双葉社／「この世界の片隅に」製作委員会

【参加条件】 ツアー出発・解散場所のJR広島駅までの往復交通費は参加者の負担となります。

【発表方法】 理解度確認クイズの成績優秀者に対して、特典ツアー参加希望者を募ります。希望者の中から抽選で20名（予定）を招待します。

【訪問場所（候補）】（広島）原爆ドーム、江波山気象館、松下商店、元宇品海岸
（呉）旧澤原邸三ツ蔵、入船山記念館、歴史の見える丘、堺橋

【受講申込先】 引き続き、受講者を募集しています。

申込は、以下のホームページをご覧ください。

https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+pt022+2018_12/about

オンライン 広島から平和を考える で検索

※理解度確認クイズ回答締切：平成31年3月21日まで

講座登録締切：平成31年3月29日まで



オンライン平和講座「広島から平和を考える」

インターネットを活用し、時間や場所を問わず、被爆の実相や核をめぐる国際動向を学ぶことのできるオンライン平和講座です。この講座により、広島県内だけでなく県外においても、平和について自ら考え、発信できる人材の育成を図ります。

この講座は、IT環境があれば、全国誰でも、無料で受講できます。

【講座概要】

【講座名】 広島から平和を考える

【講師】 東京大学大学院 ^{ふじわら}藤原 ^{きいち}帰一 教授

【内容】 (※各回約15分×3回 合計約45分の動画)

第1回 広島：廃墟からのスタート

第2回 理想と現実：核をめぐる冷戦期・冷戦終結直後の国際政治

第3回 複雑化する国際情勢：核をめぐる新たな脅威と現代的課題

(参考)第4回 平和への自覚：被災から復興へ

第5回 広島からの平和：過去・現在・未来

(※第4回、第5回は来年度開講予定)

【形式】 藤原教授によるレクチャーと出演者（ゲスト）による対談で構成

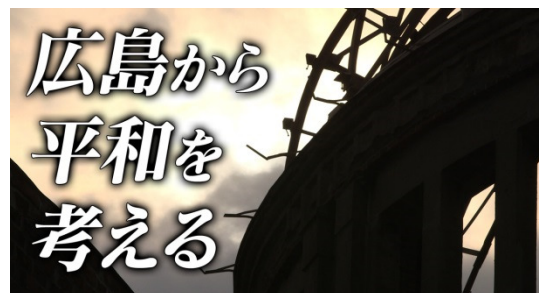
【対談者】 第1回 ^{つばい}坪井 ^{すなお}直氏（広島県原爆被害者団体協議会理事長），
^{もり}森 ^{しげあき}重昭氏（歴史家）

第2回スコット・セーガン氏（スタンフォード大学教授）

第3回 ^{あべ}阿部 ^{のぶやす}信泰氏（元国連事務次長），^{あきやま}秋山 ^{のぶまさ}信将氏（一橋大学大学院教授）

【学習期間】 3週間程度

【受講方法】 この講座は、株式会社ドコモ gacco が運営するオンライン学習プラットフォーム「gacco(ガッコ)」を使用して行います。gacco に受講登録、動画を視聴して課題に回答します。修了者には修了証を発行します。



○講師プロフィール



東京大学大学院 藤原 帰一 教授

東京大学大学院法学政治学研究科教授。専門は国際政治学。東京大学法学部卒業、同大学大学院博士課程単位取得退学。広島県の「国際平和拠点ひろしま構想」(2012年～)策定委員会委員であり、その一環として開始された「ひろしまラウンドテーブル」の議長を務める。『戦争を記憶する：広島・ホロコーストと現在』(講談社現代新書、2001年)、『平和のリアリズム』(岩波書店、2004年、石橋湛山賞受賞)など多数の著書がある。